

第8回 もっと気軽に水素利用！ ～地域社会からSDGsを推進しよう～

東京理科大学 創域理工学部経営システム工学科 教授

講師：堂脇 清志 氏
(どうわき きよし)

東京都出身。早稲田大学理工学部卒業、同大学理工学研究科修了。その後、新エネルギー産業技術開発機構を経て、東京大学大学院工学系研究科博士後期課程修了（博士（工学））。東京理科大学理工学部経営工学科に助手として着任。その後、米国ハワイ大学自然エネルギー研究所での博士研究員、(財)地球環境産業技術研究機構(RITE)主任研究員を経て再び、東京理科大学理工学部経営工学科に着任。講師、准教授、教授を経て現職。バイオマス資源からの水素を作るシステムづくりを、いろいろな要素技術を組み合わせ、それを俯瞰的な視点から実用化を目指しています。

持続可能な社会の実現を目指している社会において、再生可能エネルギーの利用は1つの重要な施策となっています。その中でも、カーボンニュートラルであるバイオマス資源（下水汚泥）を利用した水素（グリーン水素）を燃料電池に利用することは、1つの大きなチャレンジです。一方で、このような行動における環境影響評価を考えた場合、ある側面だけの評価では不十分であり、原料の収集、燃料製造、そして使用や廃棄までを考えた全体システムで考えるライフサイクルアセスメントという環境性を考える手法があります。本講座では、本学で行われているグリーン水素を燃料電池アシスト自転車に利用することを想定した研究開発が行われており、その開発状況の紹介とライフサイクル視点による環境性を評価し、“身近に利用できる水素”の方向について紹介します。

参加費
無料

6月3日(土) 14:00～16:00

場所：東京理科大学 野田キャンパス7号館6階講堂

(東武野田線運河駅より徒歩8分) オンライン(Zoom)同時開催

会場参加枠：180名

オンライン枠：250名

申込締切 5月31日(水)

申込方法：下記のURL又はQRコードからアクセスし、必要事項をご記入の上、お申し込みください。

<https://www.tus.ac.jp/event/entry/pr/2023444/>



注1 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、オンライン(Zoom)のみでの配信、又は延期となる可能性があります。

注2 会場にお越しの際は、駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

次回の講演予定

第9回 2023年9月頃開催予定



お問合せ：東京理科大学野田統括課 地域連携室 平日8:30-17:00

☎:04(7122)9137

E-mail:noda_toukatsu@admin.tus.ac.jp

野田市企画調整課 ☎:04(7123)1065

※申込開始 5月1日(月)

流山市企画政策課 ☎:04(7150)6064